

2022年10月28日

各位

会社名 株式会社ヤマダホールディングス

代表者名 代表取締役会長兼社長 CEO 山田 昇

(コード番号 9831 東証プライム)

問合せ先 執行役員 経営企画室長 清村 浩一

(TEL. 0570-078-181)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月6日に開示した連結業績予想を以下の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

1. 2023年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	821,000	32,500	35,800	25,900	29.78
今回修正予想 (B)	774,000	19,700	23,300	17,600	21.07
増減額 (B-A)	△47,000	△12,800	△12,500	△8,300	—
増減率 (%)	△5.7	△39.4	△34.9	△32.0	—
(参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	800,399	35,084	39,276	29,967	36.43

2. 2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,694,000	73,900	80,000	51,900	59.48
今回修正予想 (B)	1,647,000	61,100	67,500	43,600	54.06
増減額 (B-A)	△47,000	△12,800	△12,500	△8,300	—
増減率 (%)	△2.8	△17.3	△15.6	△16.0	—
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	1,619,379	65,703	74,136	50,555	60.96

3. 修正の理由

2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績に関しましては、前年度より継続している一過性の巣ごもり需要の反動減に加え大型台風や大雨の影響に伴う店舗休業および時短営業、従業員の新型コロナウイルス感染による勤務時間減少に伴う販売機会ロス等により、家電の売上が低調に推移しました。売上高は業界水準であったものの政策的に貸借対照表の改革を優先したことにより売上総利益が減少したことを受け、上期連結業績を修正いたします。

下期は新型コロナウイルス感染症による行動制限が大幅に緩和され消費活動の改善やラニーニャ現象による厳冬予想に伴う暖房機器拡販等に期待される中、「YAMADA HD 2025 中期経営計画」スタートの年として、以下の4つの重点施策 ①店舗開発の積極的推進 ②Eコマースの強化推進 ③SPA商品の積極的開発 ④各事業会社別 課題の目標設定で目標達成を図る が定着することを踏まえ、下期業績予想は据え置き、第2四半期連結累計期間の業績を勘案のうえ、2023年3月期の通期連結業績予想を上記のとおり下方修正いたします。

【業績予想に関する留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来予測に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上